

猫の本

The Cat Book

世界の猫

42

種類

猫って美しい。

EDING
CORPORATION

Abyssinian

アビシニアン

19世紀にイギリスで生まれたときから、1896年に血統登録団体に登録されたアビシニアン。しかしその起源については、エジプトに生息していた野生のレビアアヤマネコを飼いならしたものとする説や、1898年のイギリス・アビシニア(現エチオピア)戦争時に、イギリス兵がエジプト・アレクサンドリアの港にいた「ズーラ」という名前の猫ネコをイギリスに連れ帰り、猫ネコと掛け合わせて作出したとする説などがあり、真相は分かっていない。

特徴は、しなやかな筋肉質な体、丸

みのあるV字状の顔貌、大きなアーモンド形の目、大きな耳など。特に鳴き声の美しさで知られ、「鈴を振らすよう」と形容される。なかでも最大の特徴は、「ティックドアビー」と呼ばれる模様。アビシニアンの毛は、1本1本に遠近の模様線があり、それが光の加減によってキラキラと輝いて、まるで織物のように見えるのだ。ティックドアビーは、古代エジプトの壁画などに描かれたネコの毛色によく似ており、この毛色を生み出す突然変異はかなり古い時期に発生したと考えられている。

原産地 エジプト、イギリス
誕生年 19世紀
体重 2.5~4.5kg
ボディタイプ フォーリン
毛の種類 中くらいの変毛種

毛の色 レッド(深みの赤茶色)、レッド/レッド
キッド、ブルー、アール、シルバー
目の色 グリーン、ブルー、ブルー/ブルー
性格 賢明な性格だが、大きな声で鳴くような
事はあまりない。活発で知的な性格。賢い犬。



しなやかな筋肉質の体を持つアビシニアン。



アズノコASHは猫を飼ふ小さい方から、猫の世に最善で生活環境への配慮にも思いを込め、「最高のアズノコASHキャット」と思われる。

Ocicat

🐾 オシキヤット 🐾

ヤ マネコを彷彿とさせる、野性味あふれる見た目のオシキヤット。しかし、外見とは裏腹に性格は穏やかで非常に優しく、そんなギャップが大きな魅力となっている。

その起源は、1961年のアメリカ、ミシガン州パースレーのブリーダー、ヴァージニア・ダイラーが、アビシニアンの特徴を持つシャムを作ろうと、この2種を交配させたのが始まりだ。第1世代の子ネコはすべてアビシニアン風だったが、第2世代ではアビシニアン風種とシャムと共に、ヒョウ柄の斑点模

種を持つ子ネコが生まれた。「トンガ」と名付けられたこのネコが現在のオシキヤットの源流となっており、種名は、トンガがヴァージニアの娘から「オシキヤット」というあだ名で呼ばれていたことに由来する。その後、アメリカンショートヘアとの交配が行われた後、1980年に正式登録された。

猫犬の習性は、やはり猫全体に入った斑点模様で、被毛はまるでサテンのような手触りだ。また、「イメの魂がネコの体に入っている」といわれるように、目をすぐ覚える賢子でも知られる。

原産国 アメリカ
誕生年 1961年
体重 3.0~6.5kg
ボディタイプ セミフォーリン
毛の質感 短毛

毛の色 ブラウン、シルバーなどにスポット
目の色 藍色の準ずる（ブルー以外）
性格 人間とよく交際の優しい、目がよく、犬のように忠実だが、おしがりやで賢い猫、活発に動く一匹。



ブラウンのオシキヤットとシルバーの子ネコ。

目を細く入っているスポットが特徴。また、黒い子猫の顔は色が濃くなっている。



Siberian

🐾 サイベリアン 🐾

別名「サイベリアンフォレストキャット(シベリアの森のネコ)」とも呼ばれるサイベリアン。その名の通り、ロシア東部のシベリアの森で、自然発生的に生まれたとされる野性味あふれるネコだ。起源についてははっきりと定かでないが、少なくとも1000年以上前から存在しており、ベルシヤやアンゴラを含む、すべての長毛種の祖先ではないかと考えられている。

1986年にロシアで品種管理を始め、90年代にアメリカに渡って注目を集めた。現在はロシアを代表するネ

コとなっており、ブルバチョフ元大統領の愛猫ネコとして有名なほか、2012年には、秋田県知事がブーチン大統領に贈った秋田犬のギフトとして、このネコを贈られたことでも話題になった。

最大の特徴は、シベリアの厳しい環境に耐え得る、ダブルコートの厚い被毛。内側のアンダーコートは詰密、外側のオーバーコートは防水効果があるといわれており、耳や尾までふさふさとした毛に覆われている。一見するとヤマネコのようにいかめしいが、性格は非常に穏やかで、優しいネコである。

原産国 ロシア
誕生年 1900年代
体重 4.5~9.0kg
ボディタイプ
ロングヘアースタンプンケル

毛の種類 長毛種
毛の色 すべての色
目の色 すべての色
性格 穏やかで優しい性格で、賢く気風。また、非常に好奇心旺盛で、勇敢。



ふさふさの被毛を持つサイベリアン。毛皮を獲つたため、動物園ではブラッシングしてあげるとよい。

オオネコのような可愛らしい顔ですが、
実際には中々毛づくろいを怠らないうつむき顔です。



Japanese Bobtail

🐾 ジャパニーズボブテイル 🐾

日 本を代表するネコであるジャパニーズボブテイルは、長さ6~7cmほどの短くて丸い尾が特徴だ。

その起源は約1600年前、仏教の教典をネズミから守るため中国から輸入されたネコのなかに、ボブテイル(短い尾)の個体が混ざっており、その遺伝子が拡散して自然に誕生したというのが通説だ。この短い尾を持つネコは、江戸時代の浮世絵にも描かれているほか、「相子猫」の置物も短尾の三毛ネコであることから、日本では古くからお馴染みの存在だったことがうかがえる。

そんなジャパニーズボブテイルが注目を集めたのは、1960年代のこと。当時日本に滞在していたジュディ・タロフォードというアメリカ人女性がこのネコに魅了され、帰国の友人に雄と雌のペアを送ったことに始まる。その後、アメリカに帰国したジュディによって本格的な繁殖が行われると、体型はよりスマートになり、1976年には正式に公認。さらに1982年には長毛種も新たに公認された。長に日本に再輸入されると、その魅力が改めて見直され、三毛ネコを繁殖に人気となっている。

原産国 日本
誕生年 1500年代
体重 3.0~5.5kg
ボブタイプ フォーリン
毛の種類 短毛種・長毛種

毛の色 ナビでの色
目の色 瞳孔の色に準ずる
特徴 とても優しく穏やかな性格。情緒の変化にも強く、驚いのでしつづけもしやれど、長年お人にならなず懐疑な一面もある。

二色のジャパニーズボブテイル、
性格の良さも人気の理由だ。



猫の毛色・斑紋の種類は、100%遺伝
の割合で決まると言われ、西暦1900年
頃まで行くとたいてい猫は黒い毛色



Sphynx

スフィンクス

大きな耳と大きな目、毛のないしわしわの皮膚など、個性的な外見を持つスフィンクス。無毛のネコは突然変異によって発現する突然変異種で、その存在は古くから知られていたのだが、品種として確立されたのは1980年代になってからのことだった。

スフィンクスの起源は1986年、カナダのオンタリオで生まれた「プルーン」という名前の無毛の子ネコに始まる。プルーンをもとに無毛ネコの繁殖が始められ、古代エジプト時代に描かれたネコとの共通点から、「スフィンクス」と

と呼ばれるようになった。しかし、プルーンの子猫は数代を経て血統が途絶えてしまう。現在のスフィンクスは、1987〜1989年にかけてアメリカとカナダで発見された数匹の無毛ネコをもとに、アボントックスと交配させて作られたものである。

一見まったく毛がないように見えるが、実際は柔らかい産毛に覆われている。その風触りは非常になめらかで、まるでスエードのよう。ただし、無毛ゆえに、暑さや寒さ、紫外線にも強いので、気を配る必要がある。

原産国 カナダ
誕生年 1970年
体重 2.5〜4.0kg
ボディタイプ セミフォーリン
毛の種類 無毛種

毛の色 すべての色
目の色 ボディの色に準ずる
性格 好奇心旺盛で遊ぶことが好き。人懐っこいをせず、子どもやほかの動物とも仲良くできるが、目が動く速いので、室内飼いが必須。

無毛種だが、実際には産毛が生えぬ子、目の周囲部分には短い毛が生えている。



耳の中や目の周りに毛がなくて、耳の
穴もよく見えています。顔は短く、
鼻も鼻輪してまげるとよみ。



British Shorthair

🐾 ブリティッシュショートヘア 🐾

最も古いネコ種のひとつとされる、ブリティッシュショートヘア。1820年代には移民船に乗ってアメリカへ渡り、アメリカンショートヘアの基礎となったほか、ミス・キャロルの産卵「不思議の国のアリス」に登場するチュルチネコのモデルとしても有名だ。

その起源は2世紀頃にさかのぼり、古代ローマ帝国がイギリスを侵略した際、ネズミ駆除のために連れて来られたネコだと推測され、もともとはエジプト由来のネコだったと考えられている。

その後、19世紀頃になると、イギリ

スでは国産ネコの品種確立に力を注ぐようになったことから、ブリティッシュショートヘアの改良が進められ、1900年代に品種が確立された。

ブリティッシュショートヘアの特徴は、大きくて丸い顔、筋肉質な体、短く体に張り付いたダブルコートのような被毛だ。さまざまな毛色が認められているが、かつては人気がブルーに集中していたことと、キャットショーに出ていた個体がブルーばかりだったことによって、「ブリティッシュブルー」とも呼ばれていた。

原産国 イギリス
誕生年 1820年代
体重 3.2~7.0kg
ボディタイプ セミコビー
毛の質感 短毛

毛の色 ブルー、ブロンズ、クリームタビー、キタビロ(斑毛)、ブルータタム、シルバータビ、ドナビーなど
目の色 すべての色
性格 温厚で物静か、好奇心が強い、執心が強い。



どっしりとした筋肉質な体格が、愛嬌のたまらぬ。



さまざまな動物のなかで、最も身近で人気の高いのが猫のブリーダーコミュニティです。

猫の本

The Cat Book

2015年7月20日 version1.0発行

ISBN978-4-902896-11-4

著作 株式会社 エディング

編集 谷俣子・武井誠

デザイン 谷俣子

写真 Shutterstock

発行人 武井誠

発行 株式会社 エディング

〒162-0811 東京都新宿区水道町2-14 柴木ビル2F

【お問い合わせ】 eding@eding.co.jp

©Eding Corporation 2015

本書の無断転載、複製、頒布、公衆送信、翻訳、翻案等を禁じます。

一部または全部をアナログ化することは、個人や家庭内の利用でも著作権法により認められておりません。

エディングの書籍についての最新情報・詳細情報は、以下をご覧ください。

<http://www.eding.co.jp/>